

まが玉ってなに？



いつごろ作られたのか？

今から1500年くらい前

古墳時代を中心に

縄文時代～

平安時代



何千年もの長い期間つくられた

時代によって身につける目的や考え方は変化している

どこにでもあったものなのか？



勾玉の形は日本独特のもの

朝鮮半島の一部でも見られる



日本から伝わった

小山市でも出土している。



勾玉：飯塚44号墳 小山市教育委員会蔵

何のために作られたのか？



勾玉を身につける

➡ 悪いことから守ってくれる(お守り)

➡ 特別な力・不思議な力をもつし

じゅじゅつてき
呪術的

非常に硬い石で作られる

➡ 人を動かす力があるし

けんりよくのしょうちょう

権力の
象徴

時代によって身につける目的や考え方は変化している

ただのアクセサリーではなく、特別な力をもつもの

どうやって作られたのか？

まが玉の材料

翡翠(ヒスイ) 瑪瑙(メノウ) 水晶 滑石(かっせき)

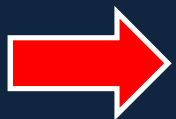


おもな作業手順

- ① 大きなかたまりを打ち砕く
- ② あな(孔)をあける
- ③ 形を整える
- ④ 砂や砥石(といし)でひたすらみがく

とにかく大変で気の遠くなるような作業

男性が身につけたの？それとも女性？



男性も女性も身につけた

男性も身につけた



琴弾の男子：飯塚31号墳 小山市立博物館蔵

女性も身につけた



杯を奉獻する巫女：飯塚31号墳 小山市立博物館蔵

どうして



な形をしているのか？

① 獣牙起源説

獣の牙を身につける



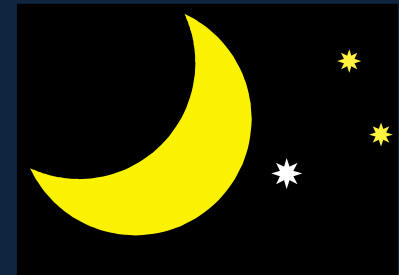
その力が宿る



形が残った

② 月神の象徴説

生活と深い関わりがある月の形をまねた。



どうして



な形をしているの？

他にも...

かんぞう
③ 肝臓模倣説



たましい
④ 魂の形説



たいじ
⑤ 胎児の形説

⑥ 北斗七星の形説



博物館ではまが玉作りの講座を開いています。参加してみてくださいね。

